

## (2) 各未来における評価

### ①産業の未来

産業の未来					
施策の基本方向/施策の体系		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D
1. 地域ぐるみで進める 農漁業の振興	6	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 暮らしを豊かにする拠 点を中心とした商工業の 振興	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3. 体験と学習をテーマと した観光・交流の促進と ツーリズムの推進	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4. 地場産業と連携して 暮らしを豊かにする新た な産業の創造	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	12	2 (16.7%)	10 (83.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

- ・ 12の施策の体系すべてが順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 順調との評価になったのは、「1. 地域ぐるみで進める農漁業の振興」における2つの施策の体系（16.7%）のみで、残り10の施策の体系（83.3%）については概ね順調の評価となっており、今後の着実な事業推進が求められる。

## 1. 地域ぐるみで進める農漁業の振興

施策コード	P1101															
評価	施策の体系	施策の方針														
B	①地域の特性に応じた組織型農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模化に対応した組織化を進める</li> <li>・大規模化に対応した設備の充実を進める</li> </ul>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業振興課</td> <td>担い手育成総合支援協議会業務、集落営農組織法人化推進事業、近代化施設・設備導入支援事業</td> <td>町内に6つの集落営農法人が設立（令和4年度末現在）。補助事業を活用し、規模拡大、省力化、低コスト化に必要な農業機械導入の支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>農地課</td> <td>農地の流動化・集積化の推進事業</td> <td>農用地区域内農地について、農地中間管理機構を介した適正な農地管理に努めた。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th>■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">【農業振興課】集落営農法人組織の高齢化による労働力確保、経営力強化が課題である。</td> <td>【農業振興課】スケールメリットを活かした経営規模への拡大、収益性の高い新規作物の導入支援など法人経営の多角化を図り、将来的には、統合を含めた広域的な組織の再編を進める。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果	農業振興課	担い手育成総合支援協議会業務、集落営農組織法人化推進事業、近代化施設・設備導入支援事業	町内に6つの集落営農法人が設立（令和4年度末現在）。補助事業を活用し、規模拡大、省力化、低コスト化に必要な農業機械導入の支援を行った。	農地課	農地の流動化・集積化の推進事業	農用地区域内農地について、農地中間管理機構を介した適正な農地管理に努めた。	■課題		■次年度への展開	【農業振興課】集落営農法人組織の高齢化による労働力確保、経営力強化が課題である。	
■主な事業		■主な成果														
農業振興課	担い手育成総合支援協議会業務、集落営農組織法人化推進事業、近代化施設・設備導入支援事業	町内に6つの集落営農法人が設立（令和4年度末現在）。補助事業を活用し、規模拡大、省力化、低コスト化に必要な農業機械導入の支援を行った。														
農地課	農地の流動化・集積化の推進事業	農用地区域内農地について、農地中間管理機構を介した適正な農地管理に努めた。														
■課題		■次年度への展開														
【農業振興課】集落営農法人組織の高齢化による労働力確保、経営力強化が課題である。		【農業振興課】スケールメリットを活かした経営規模への拡大、収益性の高い新規作物の導入支援など法人経営の多角化を図り、将来的には、統合を含めた広域的な組織の再編を進める。														

施策コード	P1102									
評価	施策の体系	施策の方針								
A	②豊かな営農環境の保全及び農業関連施設の近代化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上のための農業基盤の強化を進める</li> </ul>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地課</td> <td>土地改良整備事業、和鹿島地区海岸保全事業、土地改良施設維持管理事業、団体営農業農村整備事業、農道水路等維持事業、耕作放棄地対策業務</td> <td>土地改良整備事業では氷川大堰改修事業が令和4年度に完了。和鹿島地区海岸保全事業は平成30年度に完了するなど、県営事業は順調に推移した。団体営農業農村整備事業も新田、鹿島、野津地区の排水路整備が令和元年度、高塚用水路施設整備事業が令和4年度に完了するなど、農業基盤が強化された。</td> </tr> <tr> <td>農業振興課</td> <td>土壌改良指導事業・環境保全型農業事業、農業施設・農業環境の整備</td> <td>国県の補助事業を活用した農業用機械、施設の導入支援のほか、町単独事業となる農業用水浄化装置普及促進事業を創設し支援を行った。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果	農地課	土地改良整備事業、和鹿島地区海岸保全事業、土地改良施設維持管理事業、団体営農業農村整備事業、農道水路等維持事業、耕作放棄地対策業務	土地改良整備事業では氷川大堰改修事業が令和4年度に完了。和鹿島地区海岸保全事業は平成30年度に完了するなど、県営事業は順調に推移した。団体営農業農村整備事業も新田、鹿島、野津地区の排水路整備が令和元年度、高塚用水路施設整備事業が令和4年度に完了するなど、農業基盤が強化された。	農業振興課	土壌改良指導事業・環境保全型農業事業、農業施設・農業環境の整備
■主な事業		■主な成果								
農地課	土地改良整備事業、和鹿島地区海岸保全事業、土地改良施設維持管理事業、団体営農業農村整備事業、農道水路等維持事業、耕作放棄地対策業務	土地改良整備事業では氷川大堰改修事業が令和4年度に完了。和鹿島地区海岸保全事業は平成30年度に完了するなど、県営事業は順調に推移した。団体営農業農村整備事業も新田、鹿島、野津地区の排水路整備が令和元年度、高塚用水路施設整備事業が令和4年度に完了するなど、農業基盤が強化された。								
農業振興課	土壌改良指導事業・環境保全型農業事業、農業施設・農業環境の整備	国県の補助事業を活用した農業用機械、施設の導入支援のほか、町単独事業となる農業用水浄化装置普及促進事業を創設し支援を行った。								

■課 題	■次年度への展開
<p>【農地課】耕作放棄地の解消が進まない。特に中山間地は年々増加傾向にあり、町が独自に実施している荒廃農地等利活用促進交付金の申請も減少傾向にある。</p> <p>【農業振興課】小規模農業者のエコファーマーへの加入が進んでいない。また、離農や更新されない場合があるため加入者が減少傾向にある。</p>	<p>【農地課】定期的な農地パトロールの実施や広報紙等による町補助金の周知を図る。また、平坦地の遊休農地を減少させるため、農地バンクの活用を推進する。</p> <p>【農業振興課】エコファーマーへの加入について、小規模農業者へ加入を促進するとともに、各生産部会において、組織的な取組みを推進する。</p>

施策コード	P1103	
評 価	施策の体系	施策の方針
A	③農業経営の安定化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営安定化のための支援を進める</li> <li>・経営安定化のための指導及び研修機会を充実させる</li> <li>・生産組織の育成</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
農業振興課	経営所得安定対策事業、高生産性農業育成事業、農産物の販売強化、いぐさ・豊表生産体制強化支援対策事業、鳥獣被害対策事業、経営研修機会の拡充、経営改善・後継者育成、生産組織団体育成事業	もち米の作付けが減少している課題に対し、令和3年度から産地交付金を活用した加工用米生産向上に取り組んだ。また、令和2年度から収入保険に対する補助を拡充。令和4年度収入保険加入率が54%に上昇した。経営改善、後継者育成では、肥後銀行との包括連携協定に基づく事業として「担い手塾」を開催した。
■課 題		■次年度への展開
研修について、移住就農者や新規就農者などが参加しやすいよう情報提供する仕組みが必要。山間部でのイノシシなどの被害は減少傾向にあるが、平坦地の露地野菜を中心にカモ類など鳥による被害が拡大している。		魅力的な研修を企画するとともに、プッシュ型の研修会も検討。被害が拡大している鳥の被害対策として、八代地域農産物鳥類被害防止対策連絡協議会を中心に関係機関で連携し、有効な対策資材等などの検証と実践に地域ぐるみで取り組む。

施策コード	P1104	
評 価	施策の体系	施策の方針
B	④農地を守り農業を支える人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の育成・確保を進める</li> <li>・住民参加による農地や農村環境の保全や農作業支援の仕組みづくり</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
農業振興課	農業後継者育成事業、新規就農者支援、家族経営協定事務（新規就農者、担い手育成対策事業）、農業次世代人材投資事業、青年農業者クラブ育成支援事業、女性活動グループ育成事業、農家の働き方改革、観光農園・農業体験・漁業体験の推進	新規就農者へのフォローアップ研修について、新型コロナウイルス感染症の影響により個別での対応を行った。また、観光農園・農業体験・漁業体験の推進では、新型コロナウイルスの感染拡大によりツーリズム事業の活動が制限され、参加者数へ影響が出た。

農地課	農地の流動化・集積化の推進事業	多面的機能支払交付金事業において、事業実施地区が18地区から30地区となり、地区による農用地、水路、農道などの農村環境の保全が図られた。
<b>■課題</b>		<b>■次年度への展開</b>
<p>【農業振興課】担い手不足による離農や経営規模の縮小等により経営改善計画の再認定件数（更新件数）が減少傾向。 また、漁業体験を推進するにあたり大雨等の自然災害時における水産資源の維持、確保が大きな課題。</p>		<p>【農業振興課】JAなど関係機関と連携し、経営相談など積極的にフォローアップを実施する。 また、事業展開に向けた環境整備など漁協と連携を密にし、潮干狩り等の漁業体験プログラムを検討する。</p>

施策コード	P1105	
評価	施策の体系	施策の方針
B	<p>⑤住民参加による地産地消及び都市部や国内外での販路拡大の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の推進</li> <li>・販路拡大の取り組みを進める</li> <li>・物産館や物産展を活用した流通システムの確立・販路拡大を進める</li> </ul>
<b>■主な事業</b>		<b>■主な成果</b>
農業振興課	地産地消の推進、農特産物販売促進対策事業、各種メディアを活用したPR事業、販路拡大事業（特産品販売フェア、農産物PR事業）、アグリビジネスセンター活用活性化事業	直売所での地域農産物の取扱は、概ね7割程度で推移している。また、八代地域農特産物PR事業を活用し、トマトフェスタにおいてトマト料理のスタンプリヤーやSNS等を活用しインフルエンサーによる八代産トマトのPR、情報拡散を行った。
地域振興課	商工観光振興協議会（販売戦略等助成事業）、物産展の開催によるPR交流促進	新型コロナウイルス感染症等の影響により販売戦略補助事業を活用する団体が無かったほか、物産展の開催も余り出来ず、町内の出店希望者も少なかった。
<b>■課題</b>		<b>■次年度への展開</b>
<p>【農業振興課】道の駅竜北の認知度は高いが、氷川町の認知度は低い。 【地域振興課】新型コロナウイルス感染症拡大以降、販売戦略補助事業の活用団体は無く、物産展の開催数も減少、町内出店希望者も少ない状況。</p>		<p>【農業振興課】販売フェアにおいて、町のPRと併せて、販売面において事業が継続できるよう販売者のメリットも確保する。また、会場が固定化しているため、幅広くPR、販売促進できるよう開催場所等を検討する。 【地域振興課】関係団体への販売戦略補助事業の周知、物産展などのイベント開催及び町内事業者の出店を促す。</p>

施策コード	P1106	
評価	施策の体系	施策の方針
B	⑥環境特性に応じた漁業振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協支援による漁業振興の推進</li> <li>・漁業基盤の充実</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
農業振興課	熊本八代地区水産環境整備事業（覆砂事業）、氷川・竜北漁協育成事業（資源育成・漁場環境保全）、水産資源回復・基盤整備交付金事業、漁船の繋留場所の充実、航路の浚渫	海水面では、覆砂事業（平成30年度／令和3年度）や水産基盤整備事業など継続した事業実施により、漁場環境の改善、アサリなどの水産資源の回復・増大につながった。内水面では、継続した鮎、シジミなどの放流による水産資源の増大を図り、釣り客を中心とした観光客の増加につながった。また、台風など自然災害時の漁船避難場所について県、漁協と協議し、繋留場所候補地の選定に至った。
■課題		■次年度への展開
近年、内水面においてカワウによる鮎の食害が増加。また、浅海化や自然災害により漁業活動に支障をきたしている。		カワウによる鮎の食害対策として、カワウの生態等を把握するとともに、捕獲等の対策を講じていく。浅海化による航路の浚渫について漁協と検討を行う。事業実施にあたっては莫大な費用を要するため、国県への要望活動を併せて実施する。

## 2. 暮らしを豊かにする拠点を中心とした商工業の振興

施策コード		P1201	
評価		施策の体系	施策の方針
B		①地域に密着して暮らしを支える商工業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業サービスを高めるための支援を充実する</li> <li>・商業地の活性化の推進</li> <li>・地域に密着する企業の誘致</li> </ul>
		■主な事業	■主な成果
地域振興課	中小企業振興事業、商工会活動育成事業、商工業経営安定化支援事業、人材の確保・育成、起業に対する支援、空き店舗を活用した店舗展開事業、企業誘致活動	商工業活性化のためプレミアム商品券の販売を継続支援したほか、空き店舗解消対策として賃借料の補助メニュー追加による事業拡充を図り、新規創業支援と合わせて空き店舗解消に繋がった。	
		■課題	■次年度への展開
空き店舗を活用した店舗展開事業について依然として利用が少ない状況。企業誘致については、企業から候補地などの問合せはあるものの、建設地の用意が出来ず参入が進まない。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗活用に係る補助金制度の周知。</li> <li>・県内でも企業誘致への取組みや支援が充実してきており、県と連携しながら企業誘致を進める。</li> </ul>	

施策コード		P1202	
評価		施策の体系	施策の方針
B		②農業・物産加工業・製造業・建設業などの産業が連携した、モノづくりを主眼とする商業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点（物産館・まちづくり酒屋）を中心とした異業種交流事業を進める</li> </ul>
		■主な事業	■主な成果
地域振興課	異業種交流・研修・研究活動支援事業、テーマ型まちづくり活動支援補助金制度	交流事業として、まちづくり酒屋を活用した婚活イベントが行われた。	
		■課題	■次年度への展開
テーマ型まちづくり活動支援について、制度自体が各地区に浸透していない。		テーマ型まちづくり活動支援補助金制度について各区長に周知を図る。	

### 3. 体験と学習をテーマとした観光・交流の促進とツーリズムの推進

施策コード	P1301															
評価	施策の体系	施策の方針														
B	①ツーリズム推進のための企画・運営体制と拠点施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷川町のツーリズムの基本方針を確立する</li> <li>・ツーリズム拠点環境の充実</li> </ul>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域振興課</td> <td>ツーリズム事業の推進、ツーリズム推進体制の強化と人材養成の推進、観光事業を推進する団体の組織再編、エコツーリズム環境（立神峡公園）の充実</td> <td>ひかわツーリズムクラブへ事業委託。令和4年度に開催したマルシェにより、大幅な交流人口の増加があった。 観光事業を推進する団体の組織再編に向けて、事業内容の見直し・検討を行った。</td> </tr> <tr> <td>農業振興課</td> <td>「道の駅」周辺環境整備事業</td> <td>ツーリズム拠点環境の充実を図るため、道の駅周辺農地の活用方法を検討。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th>■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【地域振興課】 ツーリズムクラブ会員の高齢化等により会員数が減少している。</p> <p>【農業振興課】 ツーリズム事業のあり方についても整理、検討する必要がある。また、周辺農地の活用方法の検討と併せて、用地取得と財源確保が課題となる。</p> </td> <td> <p>【地域振興課】 各種イベントでのツーリズムクラブ会員勧誘活動を支援する。</p> <p>観光事業を推進する団体の組織再編に向けては、観光物産協会内での意見統一を行い、他団体の意見を聴取する。</p> <p>【農業振興課】 体験、交流の場としての周辺農地の活用について、類似施設等の活用事例等の情報収集や、財源確保の方策等を検討。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果	地域振興課	ツーリズム事業の推進、ツーリズム推進体制の強化と人材養成の推進、観光事業を推進する団体の組織再編、エコツーリズム環境（立神峡公園）の充実	ひかわツーリズムクラブへ事業委託。令和4年度に開催したマルシェにより、大幅な交流人口の増加があった。 観光事業を推進する団体の組織再編に向けて、事業内容の見直し・検討を行った。	農業振興課	「道の駅」周辺環境整備事業	ツーリズム拠点環境の充実を図るため、道の駅周辺農地の活用方法を検討。	■課題		■次年度への展開	<p>【地域振興課】 ツーリズムクラブ会員の高齢化等により会員数が減少している。</p> <p>【農業振興課】 ツーリズム事業のあり方についても整理、検討する必要がある。また、周辺農地の活用方法の検討と併せて、用地取得と財源確保が課題となる。</p>	
■主な事業		■主な成果														
地域振興課	ツーリズム事業の推進、ツーリズム推進体制の強化と人材養成の推進、観光事業を推進する団体の組織再編、エコツーリズム環境（立神峡公園）の充実	ひかわツーリズムクラブへ事業委託。令和4年度に開催したマルシェにより、大幅な交流人口の増加があった。 観光事業を推進する団体の組織再編に向けて、事業内容の見直し・検討を行った。														
農業振興課	「道の駅」周辺環境整備事業	ツーリズム拠点環境の充実を図るため、道の駅周辺農地の活用方法を検討。														
■課題		■次年度への展開														
<p>【地域振興課】 ツーリズムクラブ会員の高齢化等により会員数が減少している。</p> <p>【農業振興課】 ツーリズム事業のあり方についても整理、検討する必要がある。また、周辺農地の活用方法の検討と併せて、用地取得と財源確保が課題となる。</p>		<p>【地域振興課】 各種イベントでのツーリズムクラブ会員勧誘活動を支援する。</p> <p>観光事業を推進する団体の組織再編に向けては、観光物産協会内での意見統一を行い、他団体の意見を聴取する。</p> <p>【農業振興課】 体験、交流の場としての周辺農地の活用について、類似施設等の活用事例等の情報収集や、財源確保の方策等を検討。</p>														

施策コード	P1302												
評価	施策の体系	施策の方針											
B	②ツーリズム展開にむけた魅力的なプログラム開発及び環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーリズム推進のため環境整備やプログラムの充実を図る</li> </ul>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th>■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域振興課</td> <td>氷川ツーリズム事業、やつしろツーリズム事業</td> <td>令和4年度に開催したマルシェにより、大幅な交流人口の増加があった。</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>古墳歴史学校の開催、歴史・古墳ツーリズム、散策ルート環境整備事業</td> <td>散策ルートの除草のほか、野津古墳群の景観整備のため、令和3年度より支障木の伐採を実施。これまで55本を伐採した。</td> </tr> <tr> <td>農業振興課</td> <td>ブルーツーリズムの推進</td> <td>ブルーツーリズムの基礎となるアサリ等の水産資源の回復、増大及び漁場環境改善を目的に、水産基盤整備事業や水産環境整備事業（覆砂事業）に取り組んだ。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果	地域振興課	氷川ツーリズム事業、やつしろツーリズム事業	令和4年度に開催したマルシェにより、大幅な交流人口の増加があった。	生涯学習課	古墳歴史学校の開催、歴史・古墳ツーリズム、散策ルート環境整備事業	散策ルートの除草のほか、野津古墳群の景観整備のため、令和3年度より支障木の伐採を実施。これまで55本を伐採した。	農業振興課	ブルーツーリズムの推進
■主な事業		■主な成果											
地域振興課	氷川ツーリズム事業、やつしろツーリズム事業	令和4年度に開催したマルシェにより、大幅な交流人口の増加があった。											
生涯学習課	古墳歴史学校の開催、歴史・古墳ツーリズム、散策ルート環境整備事業	散策ルートの除草のほか、野津古墳群の景観整備のため、令和3年度より支障木の伐採を実施。これまで55本を伐採した。											
農業振興課	ブルーツーリズムの推進	ブルーツーリズムの基礎となるアサリ等の水産資源の回復、増大及び漁場環境改善を目的に、水産基盤整備事業や水産環境整備事業（覆砂事業）に取り組んだ。											

■課 題	■次年度への展開
<p>【地域振興課】八代ツーリズム事業について未検討の状況。</p> <p>【生涯学習課】古墳歴史学校の開催に向けた体験施設の整備、古墳・歴史を学ぶ講師の育成が必要。</p> <p>【農業振興課】ブルーツーリズムを推進するにあたり大雨等の自然災害からの水産資源の維持、確保が大きな課題。</p>	<p>【地域振興課】内容を再検討の上、アウトドアツーリズム事業へ移行予定。</p> <p>【生涯学習課】専門知識を持った方々へ講師を依頼し事業展開を図る。</p> <p>【農業振興課】事業展開に向けた環境整備など漁協と連携を密にし、潮干狩り等の漁業体験プログラムを検討する。</p>

施策コード	P1303	
評 価	施策の体系	施策の方針
B	③ツーリズム・交流を促進する独自イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツーリズムプログラムと町内各種イベントとの連携を図る</li> <li>・ 魅力的なイベント実施により交流促進を進める</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
地域振興課	ツーリズム年間プログラムの推進、立神峡里山フェスタなどのイベント開催、観光及び特産品振興に係るイベントの充実、ハラブナ釣り大会、梨マラソン大会、「道の駅」竜北ウォーキング	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためイベントを中止していたが、規制緩和を経て一部イベントは開催することが出来た。
■課 題		■次年度への展開
感染への不安感などから参加者が増えないイベントもあった。		イベントに応じた感染対策を取りつつ、広告周知による参加者増加を図る。

#### 4. 地場産業と連携して暮らしを豊かにする新たな産業の創造

施策コード	P1401		
評価	施策の体系		施策の方針
B	①農産物活用によるブランド化や6次産業化を目指した体制づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な産業振興の中心となる拠点の確立・機能強化</li> <li>・異業種連携による商品開発活動を進める</li> </ul>
	■主な事業		■主な成果
農業振興課	道の駅、竜北物産館、農産加工施設の機能強化、6次産業推進の体制づくり、農産加工品ブランド化事業、新規作物・新品種導入に伴う技術実証		<p>物産館については、出荷者の高齢化に伴う出荷量や出荷品の数量が減少傾向にあるが、友好物産館やJAとの連携強化を図ることで品不足の解消に努めた。また、6次産業化の核となる特産品加工センターの運用において、HACCPの導入により、自社製品の安定した製造につながった。</p> <p>集落営農法人において、水田の高度利用による収益向上、コスト削減を目的に乾田直播や高密度播種の実証展示圃の設置に取り組んだ。</p>
■課題		■次年度への展開	
出荷者の高齢化による物産館の品薄対策が課題。また、6次産業の推進体制が整っていない。		<p>物産館の品不足対策として、JAルートによる農産物の確保強化と近隣物産館との連携による商品確保に取り組む。</p> <p>6次産業の推進については、施設の有効活用と推進体制づくりを併せて検討する。</p>	